

障がいについて知って考える図書展示

12月2日(月)~27日(金)開催

12月3日は国際障がい者デー

World Disability Day (旗はdisability flag)

大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンターでは、DE&I実装キャンパスの実現に向け、障がいがある人もない人も誰もが安心して、互いに認め、支え合いながら過ごせる環境作りに取り組んでいます。今回は、学内附属図書館4館にご協力いただき、図書を通じて、障がいへの理解を深める取り組みを実施するものです。皆さん一人ひとりの立場で「障がい」ってなんだろう?と考えるきっかけになれば幸いです!

～ 開催場所 ～

- ・総合図書館(豊中)
- ・外国学図書館(箕面)
- ・生命科学図書館(吹田)
- ・理工学図書館(吹田)
- ・コンベンションセンター1階 DE&Iスペース(吹田)

◀ 図書館内では本学教員選定による「オススメ図書」をご紹介します

障がいに関するご案内もお配りしております ▶

知って 障がいに関する マーク

障がいのある人に対応した施設、設備やルールなどの存在を示したり、障害のある人が安全を必要としていることをわかりやすく伝えるため、障害者に関係する様々なマークがあります。ここでは、各自治体・自治体・団体が作成・所管する障がい者に関係するマークの一部を紹介します。

日常生活のために、できるだけ知らしめましょう！詳しくは、内閣府のHPをご確認ください！

障がい者のための国際シンボルマーク	歩行の困難な人のマーク	ほじりマーク
身体障がい者標識(車)	聴覚障がい者標識(車)	聴覚障がい者標識(車)
ヘルプマーク	ハートプラスマーク	オストメイトマーク(トイレ)
手話マーク	筆談マーク	FBMSOS シンボルマーク

今回の図書展示に際してアンケート回答へのご協力をお願いします。

<https://forms.office.com/e/6D9W592Q>

D&I 大阪大学ダイバーシティ&インクルージョンセンター

本学図書館では、「読書バリアフリー法」に基づき、誰もが読書ができる環境への取組を行っています



<https://www.library.osaka-u.ac.jp/guide/disability/>



大阪大学「ワニ様」



図書の一部をご紹介します

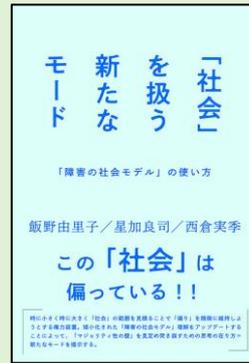
【総合図書館】



【書名】行動障害から人間を考える：「領分」を築くということ
【著者名】片岡基明
【出版社】北大路書房



【書名】障害があり女性であること：生活史からみる生きづらさ
【著者名】土屋葉 他
【出版社】現代書館

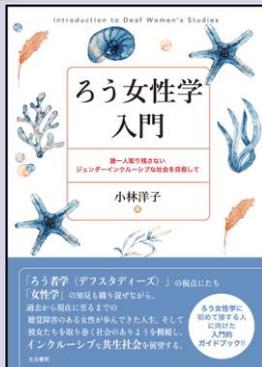


【書名】「社会」を扱う新たなモード「障害の社会モデル」の使い方
【著者名】飯野由里子
他
【出版社】生活書院



【書名】ひとが優しい博物館：ユニバーサルミュージアムの新展開
【著者名】広瀬浩二郎
【出版社】青弓社

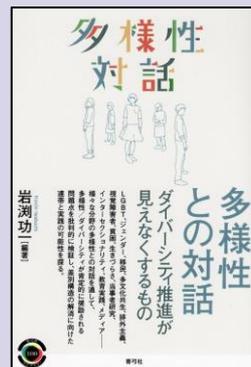
【生命科学図書館】



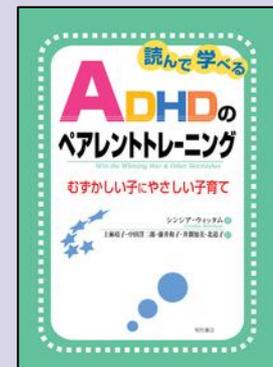
【書名】ろう女性学入門：誰一人取り残さないジェンダーインクルーシブな社会を目指して
【著者名】小林洋子編
【出版社】生活書院



【書名】こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち
【著者名】渡辺一史
【出版社】文藝春秋



【書名】多様性との対話 ダイバーシティ推進が見えなくするもの
【著者名】岩淵 功一
【出版社】青弓社



【書名】ADHDのペアレントトレーニング
【著者名】シンシア・ウィットム 他
【出版社】明石書店

【理工学図書館】



【書名】「能力」の生きづらさをほぐす
【著者名】勅使川原真衣 他
【出版社】どく社



【書名】パーソナリティ障害がわかる本：「障害」を「個性」に変えるために
【著者名】岡田尊司
【出版社】筑摩書房

【外国学図書館】



【書名】バイリンガルでろう児は育つ：日本手話プラス書記日本語で教育を！
【著者名】全国ろう児をもつ親の会編
【出版社】生活書院



【書名】双極性障害一躁うつ病への対処と治療
【著者名】加藤忠史
【出版社】筑摩書房